

熊本県

- 熊本県の年間商品販売額は卸売業の7割弱、小売業の4割強が熊本市に集中 -

熊本県の事業所数をみると、卸売事業所の50.7%、小売商店の31.5%を熊本市が占めています。年間商品販売額をみると卸売業は68.3%を熊本市が占めており、1兆円を超えています。小売業では44.1%を熊本市が占めています。

小売商店の立地をみると、その他地区の割合が35.6%と最も高く、次いで、商業集積地区が31.9%となっています。商業集積地区の内訳をみると市街地型、住宅地背景型、ロードサイド型が25~30%近くあり、立地が分散しています。なお、ロードサイド型の割合は大型ショッピングセンターが開業したことから増加しています。

卸売販売品目は生鮮品が上位に入っています。

平成19年6月1日現在(旧富合町を除く)

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

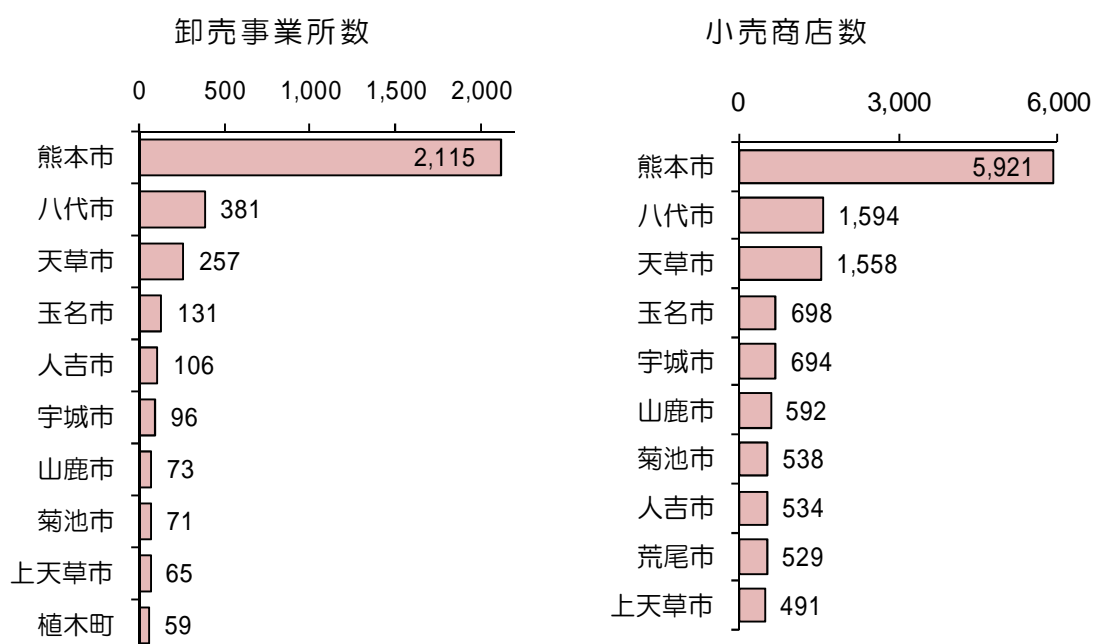
	事業所数		就業者数		年間商品販売額			
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位		
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-		
熊本県計	22,976	23	158,702	22	3,950,340	25		
卸売業計	4,170	22	37,496	22	2,197,646	25		
業種別	各種商品卸売業	19	20	246	16	15,820	14	
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	8	38	42	39	815	42	
	衣服・身の回り品卸売業	103	30	740	28	19,481	29	
	農畜産物・水産物卸売業	732	16	7,903	16	506,634	16	
	食料・飲料卸売業	610	20	5,448	26	331,513	27	
	建築材料卸売業	540	22	4,095	22	197,266	27	
	化学製品卸売業	153	25	1,077	26	74,102	28	
	鉱物・金属材料卸売業	132	33	1,345	31	154,503	32	
	再生資源卸売業	85	30	969	23	28,715	25	
	一般機械器具卸売業	321	29	2,629	25	145,507	26	
	自動車卸売業	258	24	2,473	26	84,865	28	
	電気機械器具卸売業	226	22	1,877	24	156,184	24	
	その他の機械器具卸売業	125	26	1,273	22	76,990	21	
	家具・建具・じゅう器等卸売業	156	28	939	31	38,768	24	
	医薬品・化粧品等卸売業	254	18	2,999	16	204,201	21	
	他に分類されない卸売業	448	26	3,441	25	162,284	27	
	小売業計	18,806	22	121,206	21	1,752,693	23	
	業種別	各種商品小売業	108	14	10,387	16	198,632	13
		織物・衣服・身の回り品小売業	2,294	23	9,578	22	118,860	23
		飲食物品小売業	7,029	19	48,018	20	530,470	24
自動車・自転車小売業		1,413	24	7,794	24	184,395	26	
家具・じゅう器・機械器具小売業		1,656	21	8,063	18	153,806	22	
その他の小売業		6,306	23	37,366	23	566,531	23	
医薬品・化粧品小売業		1,247	23	6,502	22	103,460	22	
農耕用品小売業		355	18	1,605	19	43,376	12	
燃料小売業		1,272	21	7,040	22	206,520	24	
書籍・文房具小売業		636	25	10,089	18	51,474	22	
スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業		407	24	2,046	23	29,015	23	
写真機・写真材料小売業		35	32	99	39	623	46	
時計・眼鏡・光学機械小売業		308	20	1,125	20	14,031	19	
他に分類されない小売業		2,046	23	8,860	23	118,031	23	

## 2. 市町村別の状況

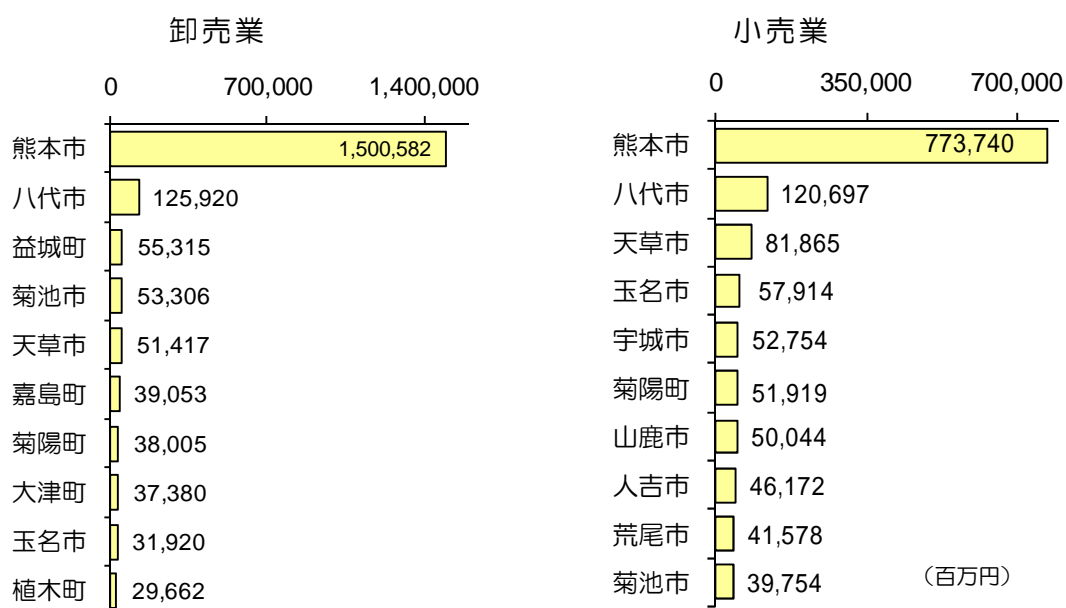
熊本県の事業所数をみると、卸売事業所の50.7%、小売商店の31.5%を熊本市が占めています。

年間商品販売額をみると、卸売業の68.3%、小売業の44.1%を熊本市が占めており、熊本市の卸売販売額は1兆円を超えています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

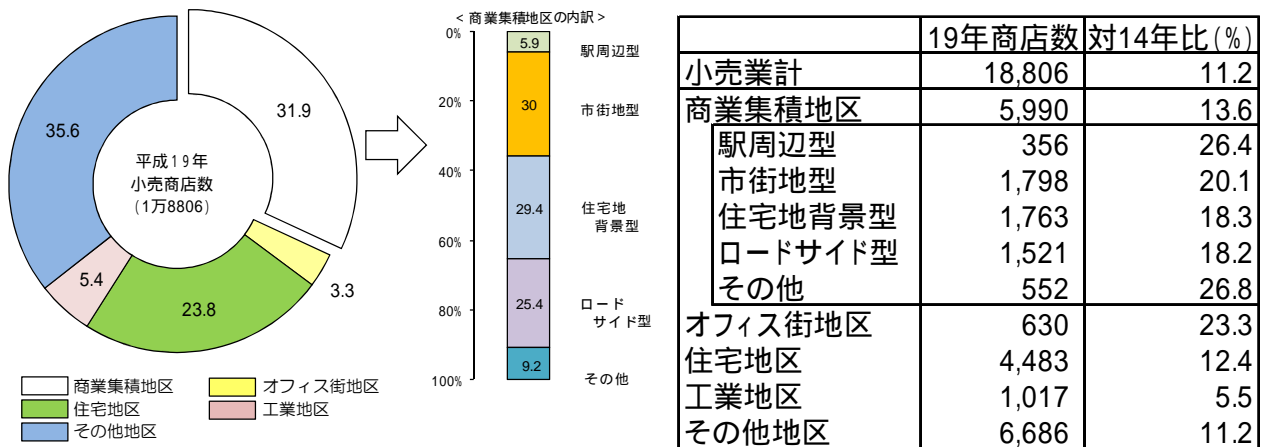


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



### 3. 立地別にみる商店(小売業)

小売商店の立地をみると、その他地区の割合が35.6%と最も高く、次いで、商業集積地区が31.9%となっています。商業集積地区の内訳では市街地型、住宅地背景型、ロードサイド型が25~30%近くとなっており、立地に分散がみられます。なお、ロードサイド型は、大型ショッピングセンターが開業したことから他県と比べて商店数が増加し、割合も高くなっています。



### 4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「野菜」、「果実」、「生鮮魚介」などの生鮮品が上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)

